

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	グローバルスタディ4 (アメリカ) (Global Study (America))					担当教員	伴 浩美 (バン ヒロミ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	協同学修型 AL
	2013-0-53-050	教養科目	選択	2単位	1年次	集中		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	協同学修型 AL
	2413-0-53-047	教養科目	選択	2単位	1年次	集中		

① 授業のねらい・概要					
夏季休業期間中、約1週間程度のアメリカ現地研修がある。交流協定校での語学研修、アメリカ文化体験を含むアクティビティ、アメリカの学生との交流、現地での生活を通じ、世界の多様性の一端を体感するとともに、自らの成長につなげることを目的とする					
② ディプロマ・ポリシーとの関連					
コミュニケーション能力/情報収集・分析力					
③ 授業の進め方・指示事項					
事前学習ではアメリカの概要、生活上の注意などを学び、研修目標を決める。現地研修中は、研修の内容を記録する。事後学習では、研修の成果を発表する。					
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能					
特になし					
⑤ テキスト(教科書) ※授業で使用する。					
テキストは使用しない。					
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。					
岩井 美佐紀 編『現代アメリカ社会を知るための63章【2020年代】』(明石書店、2021年)					
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)					
現地では安全面に配慮しつつ様々なことにチャレンジし、アメリカの人々との交流を楽しんでください。積極的に活動することを期待します。					
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安					
(1) 事前準備(情報収集・事前手続きを含む)と課題設定をした上で、現地研修に参加できた。 (2) 現地研修に参加し、学びや気づきを研修日誌に記録できた。 (3) 現地研修での成果を、文章と口頭発表によって他者に理解させることができた。					
⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1) 事前準備(情報収集・事前手続きを含む)、課題設定をした上で、現地研修に参加できた。	Aの評価に加え、現地研修で様々なことに積極的に取り組むことができた。	事前学習に参加し、詳細な現地情報を収集し、旅券取得等必要な諸手続きを一人で済ませられ、現地研修で取り組む課題を設定した上で、現地研修に参加できた。	事前学習に参加し、現地の情報収集、旅券取得等必要な諸手続きをおおむね一人で済ませられ、現地研修で取り組む課題を設定した上で、現地研修に参加できた。	事前学習に参加し、教職員の支援を得て、現地の情報収集、旅券取得等必要な諸手続きを済ませられ、現地研修で取り組む課題を設定した上で、現地研修に参加できた。	現地研修に参加できなかった。
(2) 現地研修に参加し、学びや気づきを研修日誌に記録できた。	Aの基準に加え、客観的な感想や考察(例えば新たに見つけた課題など)も記述できていた。	現地研修に参加し、研修日誌に研修内容、主観的な感想や気づきが、分かりやすい文章で詳細に記録できた。	現地研修に参加し、研修日誌に研修内容、主観的な感想が記録できた。	現地研修に参加したが、研修日誌に研修内容しか記録できなかった。	現地研修に参加できなかった。
(3) 現地研修での成果を、文章と口頭発表によって他者に理解させることができた。	Aの基準に加え、今後の課題に対する具体的なアクションプランまでも記述されており、さらなる成長が期待できる内容になっていたとともに、発表	研修日誌に基づいて、現地研修の内容、課題への取り組み方、学び、気づき、今後の課題を他者が理解できるように文章化し、それをもとに発表資料を	研修日誌に基づいて、研修内容、課題への取り組み方、学び、気づきを文章化し、それをもとに発表資料を作成して口頭発表できた。	研修日誌に基づいて、研修内容、課題への取り組み方、学び、気づきを教員の支援を得ながら文章化し、それをもとに発表資料を作成して口頭発表でき	現地研修に参加できず、レポートが書けなかった。

	会において審査員からも高い評価を得られた。	作成して口頭発表でき、質疑にも適切に回答できた。			た。		
⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法							
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計
総合評価割合			45%	40%	15%		100%
(1) 事前準備（情報収集・事前手続きを含む）と課題設定をした上で、現地研修に参加できた。			5%	5%	5%		15%
(2) 現地研修に参加し、学びや気づきを研修日誌に記録できた。			30%	5%	5%		40%
(3) 現地研修での成果を、文章と口頭発表によって他者に理解させることができた。			10%	30%	5%		45%
評価項目「その他」詳細							
フィードバックの方法	提出物にはコメントを添えて返却する。						
⑪ 授業計画と学習課題							
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）					
1	オリエンテーション、研修地紹介、渡航準備説明	為替レートを調べておく。 アメリカについての情報を集めておく。					180分
2	現地研修での目標設定、情報収集	アメリカへの渡航に必要なものを調べ、準備しておく。					180分
3	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。					180分
4	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。					180分
5	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。					180分
6	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。					180分
7	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。					180分
8	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。					180分
9	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。					180分
10	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。					180分
11	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。					180分
12	現地研修	研修日誌等をつけ、研修内容、研修で得た気づきなどを記録する。 課題が課された場合は、課題に取り組む。					180分
13	修了レポートの作成執筆指導（個別対応）	研修日誌等を参考に、修了レポートを作成する。					180分
14	成果発表会用資料の作成資料の作成指導、発表指導 発表会のリハーサル	修了レポートを基に、成果発表用の資料を作成し、発表の準備をする。					180分
15	成果発表	修了レポートを基に、成果発表用の資料を作成し、発表の準備をする。					180分
⑫ アクティブラーニングについて							
協同学修型 AL							

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性